

公表 児童発達支援における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら新松戸第2教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広いスペースが確保されている為、幅広い活動を提供できる。	広いスペースだからこそ、走りたい気持ちが出やすくなってしまいが、自由時間などは走らないように「歩くよ」と声かけをするように指導員で統一している。	活動内容が更に充実するように、環境設定で必要な所は相談しながらより良くしていく。
2	5領域を意識しながら、利用者の事を考え、子どもたちが様々な経験ができるようなプログラムを作っている。	貴重な体験。定着できるように毎月入れたい活動。クラスごとに言葉をメインにしたり、机上活動、製作や作業療法、ルールがあるゲーム、運動などまんべんなく取り入れている。	新しい活動を日々模索して、楽しく参加できる環境を提供する。
3	保護者様の相談を積極的に聞き、一緒に考えたり必要に応じて事業所内でもお困りごとを解決できるように療育に取り入れていく。	対応を早めに早期解決できることは直ぐに。早期解決が難しい事も、途中経過を報告しながら進めて行き、保護者様が一人で悩み過ぎないように対応する。	日々の保護者様からの家での様子を聞き、お子様の様子を把握しながら関わりを持つ。積極的にカンファレンスをして職員で意見を出し合い共有していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者参観が今年度は出来なかった。	少ない職員の中で、日々の業務に追われてしまった時期もあったので来年度は、早めに計画し実施できるようにしたい。	保護者参観の日時を早めに設定する。
2	感染症対策として保育所や幼稚園や近隣の施設など、地域の子どもの関わりがもてなかった。	感染症が落ち着いている時期を見ながら今後検討していきたい。	地域の交流できる場所へ行き、積極的に縦横の繋がりを持てるようにしていきたい。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら新松戸第2教室 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の状況や必要なプログラムの設定	楽しく安全に通えるように意識している。 個々の課題や児童と保護者様の思いも取り入れながら行っている。	偏りや固定化されないように児童と保護者様の状況を確認しながら進めていく。また目的があって繰り返し行っていることも伝えていく。
2	保護者様参加の研修会の多さ	毎年保護者様からの意見を頂戴してプログラム内容や開催方法を考えている。	地域の方からも外部からも参加できないかなどのお問い合わせをいただいております。個人情報なども考えながら実現できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	発信力や伝え方の弱さ	SNSの更新頻度にばらつきがある	SNSでの発信も増やし画像や文章で分かりやすく伝えていくか確認していく。 どの職員でも同じように発信できるように話し合いの場を多く持つようにする。
2	職員の共通認識や伝達	適切な共有ができていなかった 伝えていても忘れてしまうことがある	朝礼終礼のみでなく定期的なミーティングを増やし勉強会を強化する。 忘れてしまわないようにメモを取ったかや把握をしているかの確認をしていく。
3			